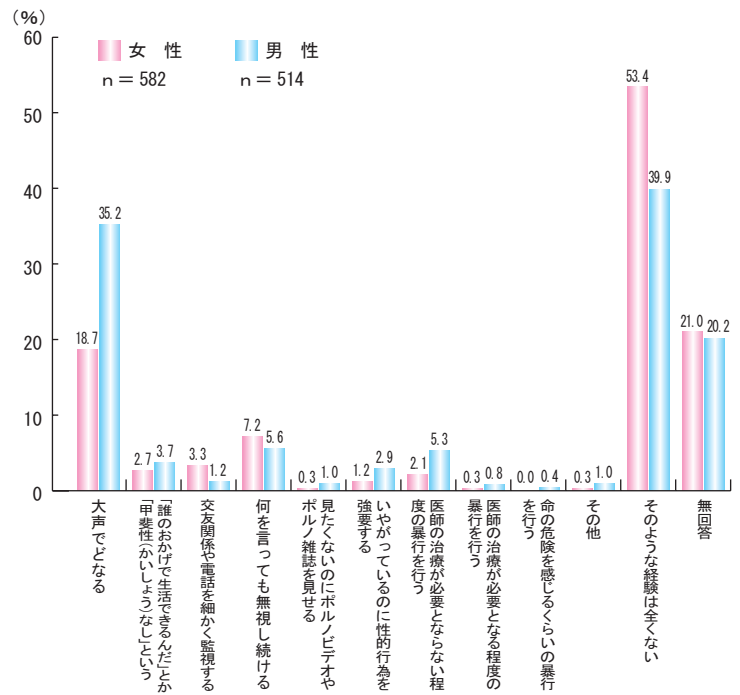


何らかの暴力を行った経験がある人は、女性約3割、男性約4割

対象者のうち、実際に夫や妻、恋人に対して何らかの暴力を行った経験は、女性は約3割(25.6%)、男性は約4割(39.9%)となっており、男女間で14.3ポイントの差が現れています。男女とも「大声でどなる」経験を持つ人の割合が最も高くなっており、このほかには、女性では「何を言っても無視し続ける」、男性では「無視」「医師の治療が必要とならない程度の暴行」経験を持つ人の割合が高くなっています。

夫・妻・恋人に暴力を行った経験(MA)

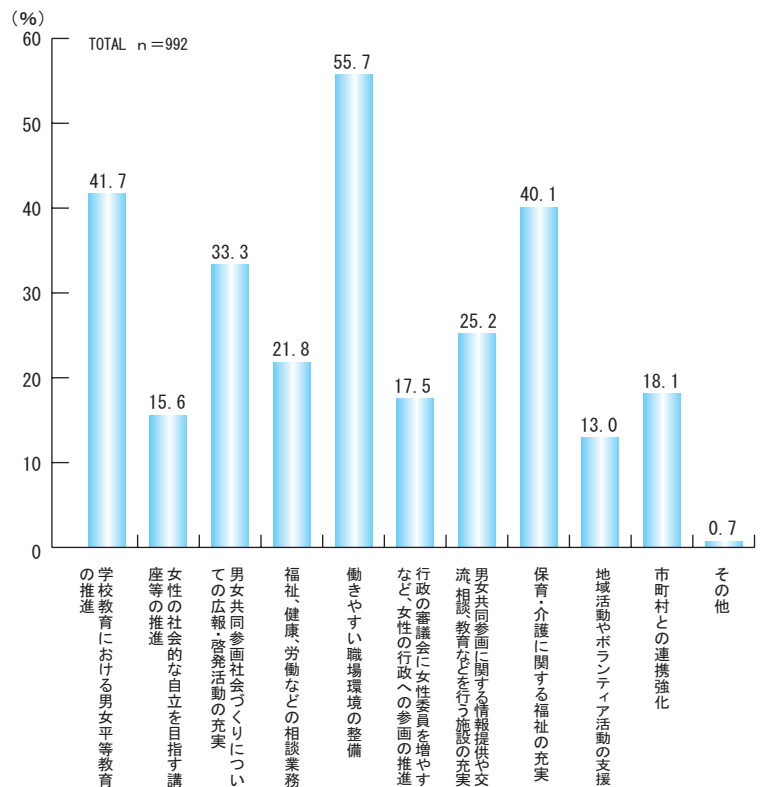


7 男女共同参画社会づくりについて

約6割が「働きやすい職場環境の整備」を期待

男女共同参画社会を形成するために県がすべきこととしては、「働きやすい職場環境の整備」を期待する割合が高く(55.7%)、過半数の人が望んでいます。また、「学校教育における男女平等教育の推進」(41.7%)や「保育・介護に関する福祉の充実」(40.1%)を期待する人も4割を超えており、主に労働、学校教育、福祉において男女共同参画の推進に力を入れるべきであると考えている人の割合が高くなっています。

「男女共同参画社会」を実現するために県がすべきこと(MA)



男女共同参画社会づくりのための県民意識調査報告書【ダイジェスト版】

平成18年3月

〔発行〕宮崎県地域生活部青少年男女参画課

〒880-8501宮崎市橘通東2丁目10番1号 TEL.095-26-7040



古紙配合率10%再生紙を使用しています